

功績賞(連名用)

表題	絵本「ぐるぐるデータのおくりもの」のプロモーションによるJAHISの知名度およびプレゼンスの向上
----	--------------------------------------------------

氏名1 <small>(よみがな)</small>	木戸 須美子 <small>(きど すみこ)</small>
所属委員会1	絵本製作TF
役職1	リーダー
勤務先1	キャノンメディカルシステムズ(株)



氏名2 <small>(よみがな)</small>	小山 美佐子 <small>(おやま みさこ)</small>
所属委員会2	絵本製作TF
役職2	メンバー
勤務先2	日本電気(株)



氏名3 <small>(よみがな)</small>	小川 雄代 <small>(おがわ ゆうだい)</small>
所属委員会3	絵本製作TF
役職3	メンバー
勤務先3	コニカミノルタ(株)



功績賞(連名用)

推薦理由(受賞理由)

1. 昨年度制作した絵本「ぐるぐるデータのおくりもの」のプロモーションを率先して推進し、JAHISが掲げる『データ循環型社会』の理念を広く社会に浸透させることに貢献されました。これにより、JAHISの知名度およびプレゼンスの向上に大きく寄与したと考えます。

具体的には下記のプロモーション活動を展開し、絵本は第3刷まで重刷を達成。2,000冊を超える絵本を関係者および関係機関に届けることができました。

- ・JAHISウェブサイト内に申込ページを開設し、キャラクター「メディたん」を効果的に配置することで、アクセス数の増加と親しみやすさを実現
- ・チラシ配布を通じてウェブサイトへの誘導を実現
- ・医療情報学会や日本薬剤師会などの関係団体主催のイベントや国際モダンホスピタルショウなどにおいて絵本紹介・配付を通じて、JAHIS理念の周知活動を実施

※TFの活動は2025年度で終了しますが、絵本製作というこれまでにない施策は、JAHISの既存活動に新たな視点をもたらしたと考えます。

奨励賞(個人用)

表題	歯科電子レセプト請求及び令和8年度診療報酬改定への貢献
氏名(よみがな)	渡辺 浩章(わたなべ ひろあき)
所属委員会	歯科システム委員会 歯科電子レセ専門委員会
役職	副委員長 兼 専門委員長
勤務先	(株)ミック



推薦理由(受賞理由)

1. 社会保険診療報酬支払基金・国民健康保険中央会との基本マスター／電子レセプト定例会に積極的に参加し、歯科ベンダーの立場として意見を発信し、随時状況報告を会員に行っている。また、令和7年度診療報酬改定DX個別テーマミーティングについても、歯科システム委員会幹部で事前打ち合わせを行い意見をとりまとめ歯科ベンダーの立場として意見を発信した。
2. 基本マスターや記録条件仕様、電子レセプトの記録方法に関する各種疑義のとりまとめ及び関係機関への疑義照会を中心となって行った。特記事項として、令和7年12月に「3次元プリント有床義歯」が新規保険適用となったがマスタ部分に誤りを発見し速やかな疑義照会おこない回答について会員へのスムーズな情報発信を行った。また、令和8年診療報酬改定においても各種疑義のとりまとめシートを作成し厚生労働省・社会保険診療報酬支払基金・国民健康保険中央会への疑義照会シートを提出し委員会の中で進捗及び現状について情報共有を実施した。

功績賞(個人用)

表題	2025年度(一財)医療保険業務研究会 受託論文作成の活動完遂
氏名(よみがな)	大住 昇平(おおすみ しょうへい)
所属委員会	電子レセプト委員会(記載要領電子化専門委員会)
役職	副専門委員長(サブリーダー)
勤務先	富士通Japan(株)



推薦理由(受賞理由)

- 2025年度(一財)医療保険業務研究協会・受託事業(調査研究事業)論文「医療DX推進に向けた診療報酬請求業務の変革:現状分析と未来への展望」において、サブリーダーとして、リーダーが繁忙な状況下においても自ら率先して具体的な提案を行うなど、本調査研究を主導し完遂した。本論文は、2017年調査研究(2016年改定)を基点として、2024年改定までの12年間の診療報酬改定の変遷を追い、医療DXにおける診療報酬請求業務およびそれを支えるシステムの未来像を示し、具体的な提言をまとめたものであり、専門性が高く、約60頁に及ぶものである。
- 令和8年度改定作業が控え、作業は短期集中が求められる中、WG開催回数は延べ14回を開催。サブリーダーとして、自身を含む多忙なメンバー間の調整を行い、WGにおける進行や議事録作成を分担するなど、活動が円滑に進むよう重要な主体的役割を果たした。
- 生成AIを活用したレビューや校正などの新たな取組みを積極的に導入し、作成・編集作業の論理性向上と効率化を実現するとともに、専門委員会メンバーの作業負担軽減に大きく貢献した。
- 本調査研究成果(論文)は、医療保険業務研究協会より、厚生労働省等、関係機関および一般に公開される予定であり、JAHISのプレゼンス向上の貢献はもとより、JAHIS会員が今後の診療報酬改定対応を進める上での環境整備にも大きく寄与するものである。

功績賞(グループ用)

表題		薬局分野の調剤報酬改定DXに係る意見具申		
No.	氏名(よみがな)	所属委員会	役職	勤務先
1	佐藤 夏苗 (さとう かなえ)	調剤システム委員会	副委員長	(株)EMテクノロジー研究所
2	中湖 豊明 (なかこ とよあき)	調剤システム委員会	副委員長	ウィーメックス(株)
3	井出 真司 (いで しんじ)	調剤システム委員会	副委員長	ウィーメックス(株)
4	守屋 和昭 (もりや かずあき)	調剤システム委員会	調剤標準化専門委員会 専門委員長	三菱電機デジタル イノベーション(株)
5	野本 禎 (のもと ただし)	調剤システム委員会	調剤標準化専門委員会 専門副委員長	東日本メディコム(株)
6	宮島 毅 (みやじま つよし)	調剤システム委員会	委員長	三菱電機デジタル イノベーション(株)

功績賞(グループ用)

推薦理由(受賞理由)

1. 令和7年度に開催された、薬局個別テーマミーティング等において、JAHISから、医科のような共通算定モジュールの考え方では負担軽減効果が得られない、負担が増加する可能性があるといった意見を提示。負担軽減効果を得るために必要な対策を検討するため、厚生労働省保険局からの依頼で令和7年12月から3回に亘りJAHISと意見交換を実施。意見交換会の中では、薬局固有の算定要件等を資料にまとめ、厚生労働省、日本薬剤師会を交えた意見交換を行い、薬局向けの共通算定モジュールに必要な機能とともに、適切に対策を講じる上で官民の役割分担と連携に関しても議論を行い内容を整理した。
2. 個別テーマミーティング実施後、厚生労働省から共通算定モジュール導入効果や薬局分野におけるDXの全体像に関する意見伺いがあり、調剤システム委員会幹部メンバーにて分担し、厚生労働省への回答資料を作成した。特に、共通算定モジュール機能に加えて必要となる機能や、調剤特有となる計算内容については、幹部メンバー内で役割分担を行い資料を整理した。また、厚生労働省に提出する前に調剤システム委員会幹部メンバー内で事前にレビューを行う等、苦心しながら資料をまとめ厚生労働省に意見具申を行う事が出来た。その結果、医科と調剤では共通算定モジュールに必要となる機能に違いがある事を認識頂く事ができ、当初は「薬局に係る診療報酬改定DX」と整理されていた厚生労働省の資料が「薬局分野の調剤報酬改定DX」という言葉が用いられるようになり、調剤システム委員会から提示した意見の結果を意識頂けるようになった。
3. 意見交換の結果、医科と同じ仕組みではなく、「調剤行為コードのみではなく、調剤情報も共通算定モジュールに送信して調剤報酬を計算する方式」の実現可否や、それによる負担軽減効果・費用対効果については重要論点として、令和8年度の報酬改定内容も踏まえながら、薬局の共通算定モジュールの検討を引き続き進める事となり、薬局分野の調剤報酬改定DXの実現に向け、JAHISのプレゼンス向上へ大きく貢献できたと考える。

功績賞(個人用)

表題	JAHIS技術文書25-101「JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.3」の改定等
氏名(よみがな)	天満 一宏(てんま かずひろ)
所属委員会	患者安全ガイド専門委員会 患者安全ガイド輸血編WG
役職	患者安全ガイド輸血編WG リーダ
勤務先	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)



推薦理由(受賞理由)

- 1.リーダーシップによる技術文書の改訂
WGリーダーとしてメンバーを牽引し、2025年10月にJAHIS技術文書『JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(輸血編)Ver.2.3』として改版した。
- 2.日本輸血・細胞治療学会との連携・調整
日本輸血・細胞治療学会との調整役を担い、現場視点を取り入れたガイドの充実化と、学会との橋渡し役として、JAHISが信頼されるパートナーとしての関係を築くことに貢献した。
- 3.日本輸血・細胞治療学会学術総会での発信による相互理解
第73回日本輸血・細胞治療学会学術総会サテライトセミナー「病院情報システム」(5月30日)に登壇。医療従事者へ直接JAHISの活動を周知し、輸血医療の安全と標準化に向けた歩み寄りを促進した。

奨励賞(個人用)

表題	看護業務専門委員会への貢献
氏名(よみがな)	増山 裕紀(ますやま ゆうき)
所属委員会	看護業務専門委員会
役職	委員
勤務先	日本事務器(株)



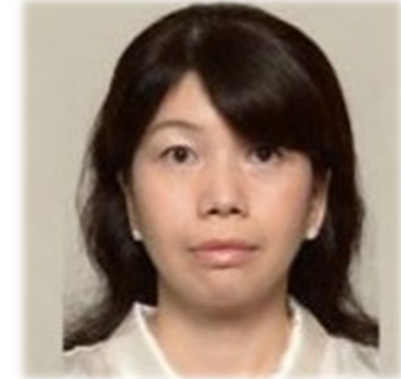
推薦理由(受賞理由)

- ・2024年9月より、看護業務専門委員会に新規加入
- ・毎回欠かさず参加し、積極的な発言で議論を牽引しており、委員会への高い貢献度が認められる。
- ・医療機関での勤務経験と現在の電子カルテベンダーの職務経験から医療現場とシステム開発、双方の知見を委員会内で広めている。
- ・開発側の視点に偏らず、実際の医療現場の運用や課題に即した実用的かつ多角的な意見を継続して発信している。

これらの活動を通じて、当委員会の活動および看護業務支援の発展に大きく貢献しており、本賞に誠にふさわしいと考えます。

奨励賞(個人用)

表題	看護情報WG活動及び対外活動への貢献
氏名(よみがな)	奥田 真奈美(おくだ まなみ)
所属委員会	看護業務専門委員会・看護情報WG
役職	委員
勤務先	NECソリューションイノベータ(株)



推薦理由(受賞理由)

(2024年11月より、看護業務専門委員会・看護情報WGに新規加入)

- ・看護情報WGの「看護データセット適用ガイド」改版に途中より参加し、対象の技術文書および「ePath適用ガイド」を読み込み、不明点はWGにて確認して、改版のための作業に意欲的に取り組んでいる。
- ・第26回 日本医療情報学会看護学術大会では、JAHIS派遣の実行委員のサポートをおこない、学会との協同に貢献した。
- ・MEDIS看護実践用語標準マスタのシステム利用において、業務経験をもとに看護師に寄り添った視点で新たな分類を提案し、9,500件を超えるマスタのシステム導入の障壁解消に尽力している。

功績賞(連名用)

表題	JED用語集のLOINCコード取得
氏名1 <small>(よみがな)</small>	尾崎 孝史 (おざき たかし)
所属委員会1	部門システム委員会 内視鏡部門システム専門委員会
役職1	専門委員長
勤務先1	オリンパスメディカルシステムズ(株)



氏名2 <small>(よみがな)</small>	龍田 岳一 (たつた たけいち)
所属委員会2	部門システム委員会 内視鏡部門システム専門委員会
役職2	委員(前 専門委員長)
勤務先2	富士フイルム(株)



氏名3 <small>(よみがな)</small>	檀原 一之 (だんばら かずゆき)
所属委員会3	部門システム委員会 検査レポート検討WG
役職3	委員(HL7協会 技術委員会 副委員長)
勤務先3	日本電気(株)



功績賞(連名用)

推薦理由(受賞理由)

1. JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約 Ver.1.0(JAHIS標準 21-002)に採用した、消化器内視鏡検査および診断に関する用語集「JED用語集」(日本消化器内視鏡学会 JED-Project)のうち、本標準で参照する用語について、国際コード体系の一つである LOINC にコード取得申請を行い、2026年2月24日リリースの LOINC Ver.2.82 に正式登録された。登録されたLOINCコードは約230、Answer IDコード&Answer List は約2,000にのぼる。
2. 消化器内視鏡分野においてこれまで広く普及している国際コードは存在していなかった。国際的な用語集としてはMST (Minimal Standard Terminology)が存在するが、日本のJEDほど詳細に記述できるものではなく、内視鏡検査結果を用いた研究を一層進化/深化させるにはJED用語集が適している。内視鏡先進国である日本発で国際化していくことは有意義であり、今回の登録によって将来、国内標準と国際標準の整合性確保やJED用語集の普及に大きく寄与できると考える。
3. LOINC事務局(Regenstrief Institute)への申請に際しては、JAHISに先行事例がなかったため、医療システム部会、国際標準化委員会、標準化推進部会などの協力を得て、JAHIS規程と不整合にならないよう手続きを進め、日本HL7協会に協力を依頼し、HL7協会のサポートのもとでコード取得を実現した。本活動は、着手から約3年半、HL7協会経由で申請が受理されてから丸3年を要した長期の取り組みである。当初、受理時には「平均約110日で登録される」との回答を得ていたものの、その後の進捗は停滞し、先方の状況に配慮しつつ丁寧なリマインドと状況確認を継続した。また、「申請内容を最大50件に分割してほしい」「内容分析のため複数の検査レポートを送付してほしい」など、先方から寄せられた追加要請にも迅速に対応した。さらに、担当者の交代や既存コード再整理のタイミングと重なるなど想定外の状況も発生したが、日本HL7協会 岡田美保子先生のご尽力・支援にも助けられ、最終的に LOINCコード登録という大きな成果を達成することができた。

功績賞(個人用)

表題	JAHIS標準25-001「JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約Ver.2.2」の改定等
氏名 <small>(よみがな)</small>	西田 慎一郎(にしだしんいちろう)
所属委員会	セキュリティ委員会
役職	監査証跡WGリーダー
勤務先	(株)島津製作所



推薦理由(受賞理由)

1. JAHIS標準25-001「JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約Ver.2.2」の改定作業を完遂し出版した。
2. 監査証跡WGリーダーとして適切な会議運営を実施し、円滑な活動を主導した。
3. 改定されたJAHIS標準をベースとしてISO27789(EHRの監査証跡)の改定についてPLとして主体的に関与し、DIS投票にむけた作業を実施した。
4. ISO/TS11633-1(リモートサービスセキュリティ)の改定作業においてPLとしてCDを作成した。

功績賞(個人用)

表題	JAHIS標準25-003「リモートサービス セキュリティガイドライン Ver.5.0」の改定等
氏名(よみがな)	松本 義和(まつもとよしかず)
所属委員会	セキュリティ委員会
役職	JAHIS/JIRA合同リモートサービスセキュリティWGリーダー
勤務先	サイバートラスト(株)



推薦理由(受賞理由)

1. JAHIS標準25-003「リモートサービス セキュリティガイドラインVer.5.0」の改定作業を完遂し出版した。
2. RSS-WGリーダーとして三つのJAHIS標準類の改定にあたり、適切なWG運営を行い、円滑に改定作業を実施した。
3. ISO/TS11633-1(リモートサービスセキュリティ)の改定作業においてPLと連携してCD作成に協力した。

功績賞(グループ用)

表題	病名情報データ交換規約Ver.3.2Cの制定
----	------------------------

No.	氏名 <small>(よみがな)</small>	所属委員会	役職	勤務先
1	木村 雅彦 <small>(きむら まさひこ)</small>	相互運用性委員会	病名情報メッセージ交換標準化WGリーダー	日本アイ・ビー・エム(株)
2	西口 貴之 <small>(にしぐち たかゆき)</small>	相互運用性委員会	病名情報メッセージ交換標準化WG委員	(株)ソフトウェア・サービス
3	西村 俊亮 <small>(にしむら としあき)</small>	相互運用性委員会	病名情報メッセージ交換標準化WG委員	(株)ソフトウェア・サービス
4	駒井 理弘 <small>(こまい まさひろ)</small>	相互運用性委員会	病名情報メッセージ交換標準化WG委員	日本電気(株)
5	井上 真由美 <small>(いのうえ まゆみ)</small>	相互運用性委員会	病名情報メッセージ交換標準化WG委員	日本電気(株)

功績賞(グループ用)

推薦理由(受賞理由)

病名情報データ交換規約Ver.3.2Cを制定した。

このJAHISデータ交換規約は、参考情報ではあるものの、FHIRを使用した各種診療データの照会について解説した初めてのJAHIS標準類であり、今後のデータ交換規約の方向性を示す記念となるものである。

奨励賞(個人用)

表題	教育事業の講師対応および標準類オーバービューチャートのアップデート作業への貢献
氏名 <small>(よみがな)</small>	岡田 春奈(おかだ はるな)
所属委員会	普及推進委員会
役職	委員
勤務先	富士通Japan(株)



推薦理由(受賞理由)

1. JAHIS教育事業「医療情報システム入門コース」の講師対応
普及推進委員会にて対応を行っている「医療情報システムの標準化について」の単元において、教材の整備・作成および講師を担当し、JAHIS教育事業に貢献、人材育成に寄与した。
2. 標準類オーバービューチャート(OVC)のアップデート作業への貢献
普及推進委員会の重点活動領域であるOVCのアップデートにおいて、厚労省標準およびJAHIS標準類の改定内容の確認を行うとともに、新たな標準類のOVCへの反映を検討するにあたっての各標準類へのマッピング、デザイン検討を率先して実行した。(OVCのアップデート版は2026年5月に公開予定)

これらの活動は、普及推進委員会の活動・成果に大きく貢献するものであり、委員会活動開始から3年以内という奨励賞の趣旨に合致し、同賞への推薦を行う。

奨励賞(個人用)

表題	JAHIS国際活動活性化への貢献(DICOM,RSNAへの積極的な参画と情報共有)
氏名(よみがな)	立石 貴代子(たていし きよこ)
所属委員会	国際標準化委員会
役職	委員
勤務先	大日本印刷(株)



推薦理由(受賞理由)

- 2025年4月に国際標準化委員会委員として登録後、1年足らずの短期間で国際標準化活動の最前線に立ち、JAHISの国際的プレゼンス向上に大きく貢献した。具体的には、以下の国際会議に参画し、対面・オンラインを問わず継続的な活動を行い、報告書を発行して情報共有を行った。
2025年5月:DICOM Standard Committee(DSC) イタリア・ベローナ(対面参加),2025年9月:DSC マレーシア・クアラルンプール(Web参加),2025年11月:RSNA、DSC 米国・シカゴ(対面参加),2026年3月:DSC チェコ・プラハ(対面参加)
- これらの活動を通じ、国際議論の場において日本およびJAHISの立場を的確に発信し、存在感を示した。
- また、DICOM活動においては、CPack 131,132,133,134,135,Supplement 246,247,249 といった重要案件について、JAHIS内の意見集約を主導し、関連団体との調整を行ったうえで国際投票に反映させるなど、実務面でも中心的役割を果たした。

国際標準化活動開始から3年以内という奨励賞の趣旨に合致し、短期間で成果を示した点、ならびに今後の継続的な国際貢献が強く期待される人材であることから、本奨励賞にふさわしいと考える。

功績賞(連名用)

表題	健康診断結果報告書規格Ver.3.0の制定
----	-----------------------

氏名1 <small>(よみがな)</small>	井上 裕之 (いのうえ ひろゆき)
所属委員会1	健康支援システム委員会
役職1	委員長、WGリーダー
勤務先1	(株)NTTデータ



氏名2 <small>(よみがな)</small>	鹿妻 洋之 (かづま ひろゆき)
所属委員会2	健康支援システム委員会
役職2	副委員長
勤務先2	オムロンヘルスケア(株)



氏名3 <small>(よみがな)</small>	立沢 研二 (たつざわ けんじ)
所属委員会3	健康支援システム委員会
役職3	委員
勤務先3	日本事務器(株)



功績賞(連名用)

推薦理由(受賞理由)

1. JAHIS-日本HL7協会合同健康診断結果報告書規格WGにおいて改訂作業を行い、2026年3月に「健康診断結果報告書規格 Ver.3.0」を制定した。改訂に際しては、国が定めた第4期特定健診の「特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式 Version4」における変更点の反映を行い、最新の制度で実施される特定健診への対応を行った。
2. 本規格は日本医療情報学会が定める「健康診断結果報告書 HL7FHIR記述仕様」においても本規格を参考にしてFHIRに準拠した記述仕様を作成したとされており、国内の健康診断結果報告様式の標準化において、本規格の適切なメンテナンスは有意義な活動となる。
3. 改訂作業は日本HL7協会との合同WGで実施した。JAHISが中心となって双方の意見の取りまとめを行い、円滑にWG運営を行いつつ、適切な改訂を行った。

功績賞(連名用)

表題	「書籍『医療情報システム入門』の改訂・販売促進」
----	--------------------------

氏名1 <small>(よみがな)</small>	木戸 須美子(きど すみこ)
所属委員会1	事業推進部 事業企画委員会
役職1	委員長
勤務先1	キヤノンメディカルシステムズ(株)



氏名2 <small>(よみがな)</small>	小川 雄代(おがわ ゆうだい)
所属委員会2	事業推進部 事業企画委員会
役職2	副委員長
勤務先2	コニカミノルタ(株)



功績賞(連名用)

推薦理由(受賞理由)

1. 3年ぶりのJAHIS書籍「医療情報システム入門」の改訂(前版は2023年2月24日発刊)において、執筆者である各委員会の方々との調整、出版元である社会保険研究所との調整、親しみやすい表紙デザインの検討、出版に向けた最終チェックを行い、「医療情報システム入門第8版(以下、書籍8版)」を2026年1月16日に発刊した。
書籍8版の巻頭言はJAMI代表理事の横井先生に執筆頂いた。発刊後は、厚労省幹部等への献本を行い高い評価を得ている。書籍8版の発行を通じて、関連省庁や学会に対するJAHISのプレゼンス向上に貢献した。
2. 前版である「医療情報システム入門2023(以下、書籍2023)」は、積極的なプロモーション活動(学会・展示会でのPR、入門コース副読本化、教育機関向けDM発送等)により、実売 5,180部 を達成した(前々版は、4,093部)。
書籍2023は、大学等より学生向けに一括購入して頂いた。また某地区の医療情報技師会では、医療情報技師を受検する方へ、JAMIテキストの副読本として推奨している。病院の情報システム部門の管理職が、入職した職員に購入を勧めている施設がある。書籍2023は、JAHIS会員企業等のベンダの枠を超え、学生や医療機関の若手職員に対するJAHIS認知度向上に寄与した。

JAHIS 幹部の功労に対する表彰について

JAHIS規程 第5004号「幹部表彰規程」での今年の対象者

氏名 <small>(よみがな)</small>	並川 寛和 <small>(なみかわ ひろかず)</small>
所属(JAHIS)	事業推進部 副部長
所属(個社名)	日本電気(株)
従事月(2026/6/6)	66



氏名 <small>(よみがな)</small>	林 健一 <small>(はやし けんいち)</small>
所属(JAHIS)	保健福祉システム部会 副部会長
所属(個社名)	(株)EMシステムズ
従事月(2026/6/6)	64



氏名 <small>(よみがな)</small>	権藤 章彦 <small>(ごんどう あきひこ)</small>
所属(JAHIS)	医事コンピュータ部会 副部会長
所属(個社名)	(株)NTTデータ
従事月(2026/6/6)	62

顔写真なし